

<白金標準、4400 円以下は供給側から見て売られ過ぎの域・・・>



(出所：オアシス)

前週に中国貿易収支の低下、2023 年第 1 四半期ユーロ圏 GDP・確報値が-0.1%となり、2 期連続のマイナス成長となった事から定義上リセッションとなっている。また中国生産者物価指数も-4.6%となるなど、中国とユーロ圏における景気後退の懸念から NY 白金の 1000 ドル、白金標準先物の 4400 円を下回ると FOMC、ECB 理事会を織り込みながら一時 4298 円まで下値を試している。ただ中国人民銀行は 1 年物中期貸出金利を 10 ヶ月ぶりに引き下げを実施し、景気対策を発表すると金融政策の違いを受けた円安も重なり、週末には 4437 円まで戻りを見せている。

しかし南アフリカの 4 月の鉱業生産量は、全体で前年同月比 2.3%増加を示したが、PGM は 4.6%低下している。またシバニースチールウォーターの CEO はシバニーの PGM 生産量は今年 5%から 10%減少し、南アフリカ全体の生産量は 15%から 20%減少すると予想を示している。特に南アフリカの電力問題は 2025 年まで続く可能性が指摘されるなど、供給側の問題が下値を支える可能性が高く、1000 ドル、4400 円を割り込む水準は売られ過ぎの域と思われ、ロングポジションで対応するのが妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り上げだし、**シグナル**は下げている。そのため強気のクロスが発生する確率が高まっていると思え、また RCI でも**短期**が切り上げだし、**長期**は下げ止まるなど下げ過ぎた位置に思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,999,000 円(2023 年 6 月 19 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 6 月 19 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>